一般質問

Q　ゆったりかん周辺及び旧花田家番屋周辺環境整備によるメリットは

西埜克明

一、小平町都市再生整備計画でゆったりかん周辺と旧花田家番屋周辺の環境整備を行うが、地域やオロロンラインの通過観光客に対し、どのようなメリットがあるのか伺いたい。

二、教育行政執行方針において、「いじめ」問題に対する取り組みについて述べられていないが、各学校に対する指導など教育委員会としての考えと教育委員会会議でどのように協議されているのか伺いたい。

A　来訪者の増加、小平の歴史文化伝承を図る

町長　関　次雄

一、ゆったりかん周辺整備は未利用地を緑地公園化するとともにアクセス道路整備を行い、来訪者の増加を図りたい。また自由に散歩するなど町民の健康増進やコミュニティの場として考えている。

旧花田家番屋周辺整備は新施設の建設や周辺整備を行い、充実した観光交流や小平の歴史文化を伝承できるものと考えている。

二、「いじめ」問題への対応は、未然防止と早期発見・対応の素早い取り組みが重要であり、学校は問題を隠すことなく教職員が一体となって対応することが必要である。教育委員会としても学校をサポートする体制づくりが重要と考えている。

教育長　横田達男

二、文部科学省等からの通達等については、教育委員会会議において、その他事項として報告協議している。

教育委員長　佐々木公子

Q　地域デマンドバスの内容は

藤田　貢

一、町政執行方針の公共交通体系について、「達布・留萌間の生活交通路線」に替え、達布地域から小平地域間は「地域デマンドバス」を運行し、小平市街において広域幹線交通に接続するとの基本方針が示された。

加えて試行実施中の「ぬくもり号」は廃止する方向とあるが、それによりサービス低下が懸念されることへの対応を伺いたい。

A　安定した公共交通の構築に努める

町長　関　次雄

一、安定した公共交通環境の構築を目的に、利用者の利便性に配慮した「地域デマンドバス」を運行し、市街地で留萌・羽幌方面に連絡する広域幹線交通に接続することで考えている。

重複する区域のスクールバスは、デマンドバスに統合することとし、タクシーを存続することも重要なため「ぬくもり号」は廃止の方向で考えている。

平成26年10月運行開始に向けて、十分な協議と検証を行い、デマンドバス区域外では「タクシー助成」、「スクールバス混乗」により充実したサービスの提供に努めたい。

※デマンドバス…小平町は「予約制乗り合いバス」として検討しています。